

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた 県内における主な取組について

1 キャンプ誘致等

(1) 国際スポーツ競技大会の誘致

2016年リオ・パラリンピックの予選となる以下の2大会について、県内での開催が決定した。

競技	大会名	開催時期	市町村
車椅子バスケットボール	IWBF 2015 アジア・オセアニアチャンピオンシップ	H27. 10月	千葉市
ウィルチェアラグビー	IWRF 2015 アジア・オセアニアチャンピオンシップ	H27. 10月	千葉市

(2) 2015世界陸上北京大会における事前合宿誘致

2020年東京オリンピックの開催を見据え、陸上強豪国は世界陸上北京大会(2015年8/22~30)の事前合宿を日本で行うことを検討しており、本県も以下の各国からの視察を受け入れるなど、キャンプ誘致活動を行っている。

国名	視察先
オランダ・ベルギー	千葉県総合スポーツセンター、中台陸上競技場(成田市)、岩名陸上競技場(佐倉市)、順天堂大学
アメリカ	中台陸上競技場、岩名陸上競技場、順天堂大学
カナダ	千葉県総合スポーツセンター、中台陸上競技場、岩名陸上競技場、順天堂大学

(3) 日本陸上競技連盟の専用サイトを活用した県内キャンプ候補地のPR

日本陸上競技連盟は、各国陸連へ日本国内のキャンプ候補地を紹介する専用サイトを10月に開設。本県は県、市、大学、企業等が管理する15のキャンプ候補地の情報を掲載している。

※本県以外に15道府県が情報を掲載(北海道、山形、栃木、茨城、新潟県、岐阜、奈良、和歌山、広島、香川、高知、佐賀、熊本、大分、長崎)

施設名(所在市町村)	施設名(所在市町村)
千葉県総合スポーツセンター(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター東総運動場(旭市)
青葉の森スポーツプラザ(千葉市)	柏の葉スポーツプラザ(柏市)
千葉ポートアリーナ(千葉市)	市原緑地運動公園臨海競技場(市原市)
船橋市運動公園(船橋市)	鴨川総合運動施設(鴨川市)
松戸運動公園(松戸市)	順天堂大学(印西市)
中台運動公園(成田市)	大網白里アリーナ(大網白里市)
岩名運動公園(佐倉市)	日本メディカルトレーニングセンター(長柄町)
東金アリーナ(東金市)	

(4) パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業

パラリンピックキャンプ誘致に向けた地域の機運を醸成するとともに、誘致活動を促進するため、誘致に前向きな市町村と連携して、選手との交流会や、国内トップ選手等によるモデルキャンプを実施し、本県の優位性をPRする。

1 交流会の開催

市町村	競技	交流会の内容
千葉市	車椅子バスケットボール	ポートアリーナでの開催を検討中
鴨川市	車椅子バスケットボール	1月31日 エキシビジョンマッチ及び講演会を実施予定
柏市	車いすテニス	11月15,16日 全日本選抜車椅子テニス選手権に併せて車いすテニス教室を開催。
山武市	ボッチャ	2月1日 開催予定

2 国内トップ選手等によるモデルキャンプの実施

交流会を実施した4地域の一つである鴨川市において、モデルキャンプを実施。

[主な内容]

- ・関東地区選抜チームによるモデルキャンプの実施
- ・受入宿泊施設従業員向け研修会の実施
- ・誘致に向けたセールスポイントの整理、誘致戦略への活用

(5) 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域活性化事業

効果的なキャンプ誘致を行うとともに、キャンプを契機とした地域づくりに繋げるため、キャンプ誘致に向けた受入体制や海外に向けた効果的なプロモーション方法について調査を実施し、検討を進めている。

(参考) 市町村における取組状況

県内では30を超える市町村で各地域の持つ資源を生かしたキャンプや観光客の誘致に向けた検討が進められている。

[報道等でキャンプ誘致を表明している主な県内市町村]

市町村	競技
千葉市	体操、セーリング、サッカー、7人制ラグビー、車椅子バスケットボール、ウィルチェアーラグビー
館山市	トライアスロン、オープンウォータースイム、ヨット、自転車、マラソン、サッカー
成田市	誘致する競技については検討中
旭市	卓球、陸上
市原市	サッカー、ラグビー

市町村	競技
流山市	卓球
鴨川市	車椅子バスケットボール
山武市	誘致する競技については検討中

2 競技力の向上

東京オリンピックに千葉県出身の選手を一人でも多く輩出し、県民に元気と勇気を届けることができるよう、アスリートの発掘・育成・強化に取り組む。

○めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業

オリンピック出場を目指すジュニア世代の選抜選手強化支援として、各競技団体が作成した競技力向上計画に基づく取組に対して助成を行う。

また、平成26年度より5ヵ年計画で、海外遠征・国内遠征費補助・競技用具整備・トップレベル指導者を招聘した講習会などの事業により、若手アスリートの育成・強化を図る。

3 魅力ある観光地づくり

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、本県の各観光地を訪れる外国人旅行者が安心して滞在・旅行できるよう、道路案内標識の英語表記、観光案内板の多言語表記や公衆無線LANの整備などを進めるとともに、訪日外国人にあたたかい「おもてなし」ができるよう、「オール千葉」での取組を推進する。

県内各地域の観光地の魅力を高めるため、観光地における景観の向上、観光公衆トイレ美化などの受入環境の整備を進めるほか、千葉ならではの土産の開発や美味しい食材の活用、ニューツーリズムの提案など、トータルでの観光地の魅力向上を図ることにより、本県の観光振興と地域経済の活性化に結び付ける。

○多言語観光案内板整備事業

○外国語ボランティアガイド養成検討事業

○観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備モデル事業

○観光地魅力アップ整備事業 など

4 大会のサポート

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ボランティア人材の育成・確保を図るため、通訳ボランティア養成検討会議を設置するとともに、通訳ボランティアの研修プログラムを開発する。

○通訳ボランティア養成事業

外部有識者や関係者等を交えた「通訳ボランティア養成検討会議」を設置し、通訳ボランティア等制度の現状や課題、今後の必要となるボランティアの言語、レベル、必要量など養成の方向性や、整備方針等についての検討を行う。

また、先進地調査等を踏まえ、今後県で実施する通訳ボランティア養成のための研修プログラムの開発や、通訳ボランティア制度を担う指導者的な人材の育成方法の検討を行う。